

日時 平成21年(2009年)

7月17日(金)
(10:00~17:40)

参加費
無料

会場

虎ノ門パストラルホテル

(鳳凰の間) 定員300名

東京都港区虎ノ門4-1-1 TEL 03-3432-7261



第23回

技術研究発表会のご案内

開催
主旨

財団法人国土技術研究センター(JICE)は、昭和48年に設立以来、今年で36周年を迎えます。

この間JICEは、高度な建設技術に関する調査研究機関として、社会の本来的要求である

「安全で安心して暮らせる国土」、「人・もの・情報が効率的に通い合える国土」、

「心豊かに暮らせる快適で美しい国土」の実現を目指して、調査・研究活動を行い、社会に貢献して参りました。

第23回となる技術研究発表会は、JICEの実施している社会資本整備に係る政策提言等、

先進的研究内容や幅広い活動状況等を広く一般の方々に対して紹介する公益事業の一環として開催いたします。

多くの皆様のご参加をお待ちしております。

特別講演

「社会基盤と文化遺産」

立命館大学教授 **土岐 憲三氏**

当日プログラム

ウラ面参照

参加申し込み

JICEのHP (<http://www.jice.or.jp/>) に
参加申し込みがございますので、
必要事項をご記入の上、お申し込み下さい。

※多数のご来場が予想されますので、
参加ご希望の方は早め WEBにてお申し込み下さい。

問い合わせ先

(財)国土技術研究センター情報・企画部
TEL 03-4519-5006 FAX 03-4519-5016
Email gijutu-happyoukai@jice.or.jp

その他

本技術研究発表会は、土木学会認定の
継続教育(CPD)プログラムに認定されています。

主催

**財団法人 国土技術研究センター
(JICE)**

〒105-0001 東京都港区虎ノ門 3-12-1 (ニッセイ虎ノ門ビル)



第23回 技術研究発表会 プログラム

午前の部

- 10:00～10:05 挨拶 ●理事長● 大石 久和
- 10:05～10:25 JICE事業概要 ●理 事● 藤本 保
JICEが目指している「政策提言集団」について
- 10:25～11:45 特別講演 ●立命館大学教授● 土岐 憲三氏
「社会基盤と文化遺産」
- 11:45～13:00 昼食・休憩

午後の部

人・もの・情報が効率的に通い合える国土

- 13:00～13:25 **地域の実情に応じた道路構造令の弾力的運用について**
●道路政策グループ● 丸山 大輔(上席主任研究員)／高松 良行／大住 道生／野平 勝
道路構造令は、特例規定による柔軟な運用が可能な制度である一方、規定が画一的であり過大な道路整備の原因になっているとの指摘も多い。本発表では、実態調査等に基づき地域の実情に柔軟に対応できる道路構造令の運用のあり方について報告する。
- 13:25～13:50 **自律移動支援プロジェクトにおける取組みと今後の展開について**
●道路政策グループ● 林 隆史(ITS推進室・自律移動支援プロジェクト推進チーム 首席研究員)／杉崎 光義／森谷 進也／荒木 一司
ユニバーサル社会に向けて「いつでも、どこでも、だれでも」移動等に関する情報を入手できる環境の構築を目指した自律移動支援プロジェクトについて、実証実験の検証結果を総括し、今後の展開に向けた取組みについて報告する。
- 13:50～14:15 **機械式自動二輪車駐車施設の技術基準策定について**
●都市・住宅・地域政策グループ● 漆間 誠一(主任研究員)／美濃部 雄人
都心の繁華街等で深刻化する自動二輪車の路上駐車問題解決のため、立体式自動二輪車駐車場の新設等が望まれている。本発表では、安全性検証の技術が確立されていないこれらの機械設備普及のための技術基準の検討過程や検討成果について報告する。
- 14:15～14:40 **河川技術の普及・向上に向けたJICEの新たな取組み(自主研究)**
●河川政策グループ● 岡安 徹也(防災・危機管理チームリーダー)
JICEでは技術基準やシミュレーション等のノウハウツールをHP上で提供している。本発表では、現場における課題や問題意識の声をWeb上でフィードバックして河川技術の向上に役立てる「河川技術フォーラム(電子掲示板)」等の取組みについて報告する。

14:40～14:55 休 憩

安全に安心して暮らせる国土

- 14:55～15:20 **河川管理のあり方について**
●河川政策グループ● 仲村 学(上席主任研究員)／桑島 偉倫／柳澤 修
増加する施設ストックを効率的に維持する「量的」な観点と、気候変動の影響等増大する外力に対して安全性を確保する「質的」な観点からの河川管理が求められている。本発表では、河川管理の視点を総合化し、順応的管理のための目標・モニタリング方法等今後の河川管理のあり方について報告する。
- 15:20～15:45 **社会的に求められる新たな機能を考慮した水門の設計手法の取組み**
●河川政策グループ● 柳澤 修(上席主任研究員)／今井 武雄
老朽化した大規模水門の改築にあたり、従来の機能のほか、近年の社会的要請に基づく新たな機能として、ゲート設備の危機管理、大規模地震対策、地球温暖化への対応等が求められている。本発表では、大規模水門の改築にあたり、我が国で初めてこれらの機能の検討を行った結果について報告する。

心豊かに暮らせる快適で美しい国土

- 15:45～16:10 **知的障害者、精神障害者、発達障害者に対応したバリアフリー化施策について**
●情報・企画部● 沼尻 恵子(上席主任研究員)／林 隆史／藤村 万里子
バリアフリー新法により、身体障害者のみならず知的障害者、発達障害者を含む全ての障害者が対象となることが明確化された。本発表では、人的対応(ソフト)と施設整備の方策(ハード)の両面から検討したバリアフリー化施策について報告する。

16:10～16:25 休 憩

効果的・効率的な国土づくり

- 16:25～16:50 **建設コスト縮減施策の成果と日米価格差の長期トレンドについて**
●技術・調達政策グループ● 田中 救人(技術政策チームリーダー)／小野 友成／鶴飼 貴昭
建設コスト縮減の施策は、1997年に政府全体で取り組み始めて以降、内容を充実しつつ今日に引き継がれている。本発表では、1997年から2007年までのコスト縮減の成果を包括的に整理分析した結果及び日米価格差の長期トレンドについて報告する。
- 16:50～17:15 **土木コンクリート構造物の耐久性向上施策について**
●技術・調達政策グループ● 山田 武正(上席主任研究員)／渡邊 三男／渡邊 徹
平成12年のコンクリート耐久性検討委員会の提言を踏まえ、「土木コンクリート構造物の品質確保について」が国土交通省より発出された。本発表では、この提言に基づく、水セメント比の規定、単位水量測定、非破壊試験等による耐久性の向上を目指す取組みについて報告する。
- 17:15～17:40 **発注者に求められる技術力と発注者支援方策の具体化検討について(自主研究)**
●技術・調達政策グループ● 森田 康夫(調達政策チームリーダー)
社会資本の品質確保を図るため、発注者(公物管理者)は何をなすべきか?本発表では、現行体制の問題点を検証するとともに国内外の制度・仕組みから参考となる制度・仕組みをリストアップし、インハウス組織の強化及び発注者支援制度について提案するものである。

17:40～17:45 閉 会